

(案)

北九州市
子ども・子育て支援に関する市民アンケート
【就学前児童用】

○ アンケート調査へのご協力をお願い

北九州市では、皆様のご理解とご協力を得ながら、子育て支援のための施策を進めています。この度、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下※「子ども・子育て支援新制度」という）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：平成27～31年度）を策定することとなりました。

この計画を策定するに当たり、総合的に子育て支援に取り組み、計画をより実効性のあるものにするため、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」等を算定することや、家族の状況や子育ての実態、保護者の意識やニーズなどを把握することを目的としたアンケート調査を実施します。

また、この調査は平成25年8月 日現在の住民基本台帳から、平成25年4月1日時点で「0歳から5歳の方を無作為に5,000人抽出」し、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用するものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることはありません。皆様には、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

* お手数ですが、本調査票はご記入後、平成25年9月 日までにご投函ください。

《お問い合わせ先》

北九州市子ども家庭局子ども家庭政策課

北九州市小倉北区内1-1

電話：093-582-2550 F A X：093-582-0070

○ ご記入に当たってのお願い

- 1 アンケートには、あて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 設問によってご回答いただく方が限られていたり、お選びいただく方が異なったりしますので、ことわり書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 3 ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて
平成25年9月 日（ ）までにご投函ください。
- 4 ご不明な点、調査に関するお問い合わせは、子ども家庭局子ども家庭政策課（電話：093-582-2550）までお願いいたします。

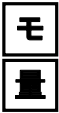
※「子ども・子育て支援新制度」の趣旨・考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

（用語の定義） この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）

問4



あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方として、あてはまるもの1つに○をおつけください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 父母ともに 2. 主に父親 3. 主に母 4. 主に祖父母 5. その他

問5

平日、あて名のお子さんの父母やその他の方がそれぞれ家事・育児をしている時間は、1日あたりどのくらいですか。枠内に、具体的な数字でお答えください。父母以外の家族の方が家事・育児をしている場合は、その方についてご記入ください。

※ 家事…炊事、洗濯、掃除など 育児…乳幼児の世話、子どもの勉強や遊びの相手など

父 → 家事 時間 分 育児 時間 分

母 → 家事 時間 分 育児 時間 分

父母以外の家族の方が家事・育児をしている場合は、次の1から5の中から、あてはまるもの1つに○をつけて、時間をご記入ください（複数ある場合には、それぞれ分けてご記入ください）。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。



【1. 祖父 2. 祖母 3. おじ 4. おば 5. その他（ ）】

家事 時間 分 育児 時間 分

【1. 祖父 2. 祖母 3. おじ 4. おば 5. その他（ ）】

家事 時間 分 育児 時間 分

3. 教育・保育事業の利用についてお伺いします。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など問11-1に示した事業が含まれます。

問11 あて名のお子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

モ

量

1. 利用している

2. 利用していない → 問11-6へ

問11で、「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。

問11-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

モ

量

- | | |
|---|--|
| 1. 認可保育所
(就学前の子どもを家庭で保育できない場合に保護者にかわって保育する施設で、市長が認可したもの) | 6. 幼稚園(通常の就園時間) |
| 2. 家庭的保育事業
(市の事業で、保育者の家庭等で生後43日から概ね2歳までの子どもを預かるもの) | 7. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 事業所内保育施設
(企業が運営する施設で、従業員の子どもを預かるもの) | 8. ほっと子育てふれあいセンター
(地域住民が子どもを預かる事業) |
| 4. 認定こども園
(保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設で、県知事が認可したもの) | 9. その他 () |
| 5. 認可外保育施設
(市長の認可を受けていない保育施設) | |

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)かを、口内に具体的な数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。時間は、必ず(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。

モ

量

(1) 現在

1週あたり 日 1日あたり 時間 ※ (時~ 時)

※ 24時間制(例:午後6時⇒18時)でご記入ください。

(2) 希望

1週あたり 日 1日あたり 時間 ※ (時~ 時)

問11で、「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。

問11-6 利用していない理由は何ですか。理由としてもっともあてはまるものすべてに○をつけてください。

モ

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため。(_____ 歳くらいになったら預けようと考えている)
9. その他 (_____)

すべての方におうかがいします。

問12 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。あてはまるものすべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料等がかかります。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

モ

量

1. 認可保育所
(就学前の子どもを家庭で保育できない場合に保護者にかわって保育する施設で、市長が認可した定員20人以上のもの)
2. 小規模な保育施設
(就学前の子どもを家庭で保育できない場合に保護者にかわって保育する施設で、市長が認可した定員6～19人のもの)
3. 家庭的保育事業
(市の事業で、保育者の家庭等で生後43日から概ね2歳までの子ども5人以下を預かるもの)
4. 事業所内保育施設
(企業が運営する施設で、従業員の子どもを預かるもの)
5. 認定こども園
(保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設)
6. 認可外保育施設
(市長の認可を受けていない保育施設)
7. 幼稚園(通常就園時間の利用)
8. 幼稚園の預かり保育
(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
9. ほっと子育てふれあいセンター
(地域住民が子どもを預かる事業)
10. その他 (_____)
11. 特にない

問12-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

モ

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

問12で、「1」から「9」を選ばれた方におうかがいします。

問12-2 問12で、あなたの選んだ事業について、あて名のお子さんが何歳になったときに利用を希望されますか。該当する事業番号および、年齢をご記入ください。
また、1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）を希望しますか。選択した事業ごとに枠内に具体的な数字でお答えください。

選択した事業番号

利用をはじめたいと思う子どもの年齢（ 歳 か月）

1週あたり 日 1日あたり 時間 ※（ 時～ 時）

※ 24時間制（例：午後6時⇒18時）でご記入ください。

選択した事業番号

利用をはじめたいと思う子どもの年齢（ 歳 か月）

1週あたり 日 1日あたり 時間 ※（ 時～ 時）

選択した事業番号

利用をはじめたいと思う子どもの年齢（ 歳 か月）

1週あたり 日 1日あたり 時間 ※（ 時～ 時）

問12-3 事業を利用したいと考えている理由はどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方が、現在就労している
3. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方が、現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
4. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方が、就労予定がある、または求職中である
5. あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方が、そのうち就労したいと考えている
6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障害を持っている
8. 学生である、または就学したい
9. 1から8までの理由はないが、子どもの教育のために通わせたい
10. その他（）

4. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
うかがいます。

問13

モ

量

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料等がかかります。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1)土曜日

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい | } | → 利用したい時間帯※ (<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時) |
|---|---|--|

※ **24時間制** (例：午後6時⇒18時) でご記入ください。

(2)日曜・祝日

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい | } | → 利用したい時間帯※ (<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時) |
|---|---|--|

※ **24時間制** (例：午後6時⇒18時) でご記入ください。

問13-1

問13の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください

モ

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他 ()

「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。

問14

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料等がかかります。

モ
量

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

→利用したい時間帯※ (時～ 時)

※ 24時間制(例：午後6時⇒18時)でご記入ください。

問14で、「3.週に数日利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問14-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

モ

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他 ()

5. 病気の際の対応についてうかがいます。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

※平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問11で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問23にお進みください。

問15 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

モ **量** 1. あった 2. なかった → 問16へ

問15-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

モ **量**

ア. 父親が休んだ	<input type="text"/>	日
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/>	日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/>	日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/>	日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="text"/>	日
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/>	日
キ. ほっと子育てふれあいセンターを利用した	<input type="text"/>	日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	日
ケ. その他 ()	<input type="text"/>	日

問15-1で、「ア」、「イ」のいずれかを選んだ方におうかがいします。

問15-2 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまるもの1つに○をつけ、日数についても口内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等利用は、一定の利用料等がかかり、利用前にかかりつけ医の受信が必要となります。

モ **量**

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → 日

2. 利用したいとは思わない → 問15-4へ

問15-2で、「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問15-3 病児・病後児保育施設等を利用する場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

モ

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
(例：ほっと子育てふれあいセンター事業等)
4. その他 ()

問17

あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料等がかかります。

モ
量

1. 利用したい	計	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
ウ. 不定期の就労		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
エ. その他（ <input type="text"/> ）		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 利用する必要はない				

問17で、「1. 利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問17-1 問17の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

モ

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援センター等）
3. 地域住民等が家庭等で保育する事業（例：ほっと子育てふれあいセンター等）
4. その他（ <input type="text"/> ）

問18

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

モ
量

		1年間の対処法	日	数	
1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
	エ. 仕方なく子どもを同行させた		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
	カ. その他（ <input type="text"/> ）		<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. なかった					

問18で、「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」を選んだ方におうかがいします。 → ア.以外を選択した方は、問19へ

問18-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

モ

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

7. 地域子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがいます。

問19



あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、本市では「親子ふれあいルーム」や「地域子育て支援センター」と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料等がかかる場合があります。

1. 親子ふれあいルーム（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

（区役所〔市内7箇所〕にあり、気軽に乳幼児を持つ親子が集える場）

1週あたり 回 もしくは 1ヶ月あたり 回程度

2. 地域子育て支援センター

（区役所〔市内8箇所〕で、保育士が子育て家庭や育児サークルへの相談・支援を行う場）

1週あたり更に 回 もしくは 1ヶ月あたり 更に 回程度

3. 利用していない

問20



問18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまるもの一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料等がかかる場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1週あたり 回 もしくは 1ヶ月あたり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週あたり 回 もしくは 1ヶ月あたり 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

8. 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。

問21

モ

下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。A～Cのそれぞれについて、あてはまるものすべてに○をおつけください。

	A： 知っている	B： 利用したことがある	C： 今後利用したい
① 母親学級、両親学級、育児学級	1	2	3
② 市民センターなどでの育児相談	1	2	3
③ 家庭教育に関する学級・講座	1	2	3
④ 認可保育所や幼稚園の子育て支援事業	1	2	3
⑤ 子ども・家庭相談コーナー (区役所の保健福祉課にある子育ての総合相談窓口)	1	2	3
⑥ 児童館	1	2	3
⑦ 子育てふれあい交流プラザ	1	2	3
⑧ 子どもの館	1	2	3
⑨ 親子ふれあいルーム(※1)	1	2	3
⑩ 地域子育て支援センター(※2)	1	2	3
⑪ 子育て支援サロン“ぴあちゃーれ”	1	2	3
⑫ 赤ちゃんの駅	1	2	3
⑬ わらべの日	1	2	3
⑭ 子育てマップ北九州(※3)	1	2	3
⑮ 北九州市こそだて情報(※4)	1	2	3
⑯ Eメール配信サービス	1	2	3
⑰ ほっと子育てふれあいセンター(※5)	1	2	3
⑱ ハローベビーサポート事業	1	2	3
⑲ 不妊専門相談ダイヤル	1	2	3
⑳ 妊産婦、乳幼児の家庭訪問	1	2	3

※1 親子ふれあいルーム：区レベルでは区役所または近接した公共施設に、地域レベルでは10箇所の児童館(風師、中島、新政町、葛原、徳力、高須、槻田、楠橋、小嶺、夜宮)に設置している。

※2 地域子育て支援センター：現在、8か所あり、主に保育所に併設されている。(各区1か所、小倉南区のみ2か所)

※3 子育てマップ北九州：子育てに関する最新情報を提供するホームページ

※4 北九州市こそだて情報：子育て支援に関するさまざまなサービス、制度、施策の情報を一冊にまとめた情報誌

※5 ほっと子育てふれあいセンター：地域で子育ての援助を行いたい者と、子育ての援助を受けたい者を会員とする相互援助組織。保育施設の開始前や終了後、急な残業などの際に子どもを預かり、子育て家庭を支える事業(対象年齢：生後3か月～小学6年生)。

9. あて名のお子さんが3歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問22

あて名のお子さんについて、小学校になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でお答えください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でお答えください。



1. 自宅 週 日くらい

2. 祖父母宅や友人・知人宅 週 日くらい

3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週 日くらい

4. 児童館（※1） 週 日くらい

5. 放課後児童クラブ（※2） 週 日くらい
下校時から 時まで

※24時間制（例：午後6時⇒18時）でご記入ください。

6. その他（市民センター、公園など） 週 日くらい

- ※1 児童館にある放課後児童クラブの利用を希望する場合は「5. 放課後児童クラブ」で回答してください。
- ※2 地域によって学童保育などと呼ばれており、小学生に対して生活の場を提供するものです。本市では、低学年や留守家庭に限らず、希望するお子さんが、利用できるようになっています。なお、事業の利用には、一定の利用料等がかかる場合があります

問22で「5. 放課後児童クラブ」を選ばれた方におうかがいします。

問23

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。下の1～3のそれぞれについて、当てはまる番号に○をおつけください。また、利用を希望される場合、利用の希望時間について、枠内に具体的な数字でお答えください。



1. 土曜日

ア. 利用したい
 時 分から 時 分まで

イ. 利用希望はない

2. 日曜日・祝日

ア. 利用したい
 時 分から 時 分まで

イ. 利用希望はない

3. 長期休暇中（夏休み・冬休みなど）

ア. 利用したい
 時 分から 時 分まで

イ. 利用希望はない

※ いずれも時間は24時間制（例：午後6時⇒18時）でご記入ください。

10. 子育てに関する悩みや不安についておうかがいします。

問24 子育てに関して、悩みや不安などを感じていますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 非常に感じる | 4. 全く感じない |
| 2. やや感じる | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり感じない | |

問25 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと |
| 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 5. 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 6. つい、子どもに手をあげてしまうこと |
| 7. 子育てのストレスがたまって、子どもの世話を怠ってしまうこと |
| 8. 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 9. 子どもの教育に関すること |
| 10. 子育ての経済的な負担が大きいこと |
| 11. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 12. 登園拒否などの問題について |
| 13. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 14. 配偶者・パートナーの帰宅時間が遅いこと |
| 15. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと |
| 16. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと |
| 17. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること |
| 18. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 19. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと |
| 20. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと |
| 21. 地域の治安に不安があること |
| 22. その他（ ） |

問26 子どもの健康上、特に気になることはありますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. アトピーがある	8. 疲れやすい
2. ぜんそくがある	9. 情緒が不安定
3. 虫歯が多い	10. 姿勢が悪い
4. 肥満の傾向がある	11. 生まれつき病気がある (病名:)
5. 食欲がない	12. その他 ()
6. 風邪をひきやすい	13. 特にない
7. 視力が低下している	

問27 子どものかかりつけ医を決めていますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

1. 決めている	2. 決めていない
----------	-----------

問28 あなたには、子育て（教育を含む）に関する悩みや不安を気軽に相談できる相手はいますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

モ

1. いる
2. いない



問28で、「1. いる」を選ばれた方におうかがいします。

問28-1 あなたは、子育てに関する悩みや不安をどなたに（どこに）相談していますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

モ

1. 配偶者・パートナー
2. その他の親族（親、きょうだいなど）
3. 友人や知人
5. 隣近所の人
6. 職場の人
7. 保育所（認可外保育施設を含む）、幼稚園、学校の保護者の仲間
8. 子育てサークルの仲間
9. 親子ふれあいルーム
10. 地域子育て支援センター
11. 保健所
12. 保育所の先生
13. 幼稚園の先生
14. かかりつけ医、看護師
15. 保健師、栄養士など（区役所）
16. 子ども・家庭相談コーナー（区役所保健福祉課）
17. 民生・児童委員、主任児童委員
18. 市民センター（子育て相談や子育てサークルなど）
19. 児童相談所（子ども総合センター）
20. 24時間子ども相談ホットライン（子ども総合センター）
21. 子育て支援サロン“びあちえーれ”
22. 母子福祉センター
23. 障害関連施設など
24. 民間やNPOなどの相談窓口
25. その他（）

問29 子育てに関する情報を、通常どのように入手されていますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 親族や友人、知人など	10. スマートフォン
2. 保健師等による家庭訪問	11. パソコン
3. 保育所、幼稚園	12. タブレット
4. 区役所や市の機関	13. FacebookやmixiなどのSNS (ソーシャルネットワークサービス)
5. 市民センター、図書館などの公共施設	14. 本、雑誌
6. 市政だよりなどの市の発行物	15. 無料で配布される地域の情報誌
7. テレビ、ラジオ	16. その他 ()
8. 新聞	17. わからない
9. 携帯電話	

問30 今後、行政が子育てに関する情報を発信する手段(場所)として、より力を入れてほしいものは何ですか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 保健師等による家庭訪問	8. 携帯電話
2. 保育所、幼稚園	9. スマートフォン
3. 区役所や市の機関	10. タブレット
4. 市民センター、図書館などの公共施設	11. FacebookやmixiなどのSNS (ソーシャルネットワークサービス)
5. 市政だよりなどの市の発行物	12. 本、雑誌
6. テレビ、ラジオ	13. 無料で配布される地域の情報誌
7. 新聞	14. その他 ()

11. 今後の北九州市の子育て支援についておうかがいします。

問31 今後、子育て支援の充実に向けて、より力を入れてほしい支援策は何ですか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 安心して妊娠・出産、子育てできる医療体制
2. 子どもの健全な発育に資する、乳幼児の健診や相談などの保健サービス
3. 子育ての不安や悩みを気軽に相談したり、学習できる場所
4. 子育てサークルなど地域での自主的な子育て活動への支援
5. 子育て家庭が利用しやすい、公園や子育て支援施設等
6. 子育て家庭が外出した際に困らない、道路などの都市環境
7. 入所しやすく、多様なニーズにこたえられる保育所
8. 入所しやすく、多様なニーズにこたえられる幼稚園
9. 安心して子育てと仕事を両立できる職場環境
10. 公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮
11. 子育てに関する公的な経済的支援
12. 子育て支援に関する情報を気軽に入手できる体制
13. その他（）

12. 封筒のあて名のお子さんの「父親」の就労状況についておうかがいします。
【母子家庭の場合は記載不要】

問32 **モ** 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないことなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について、健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問33 **モ** 育児休業や短期時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- 1. 働いていなかった
- 2. 取得した（取得中である）
- 3. 取得していない → 問33-6へ

問33-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 問33-2へ
- 2. 育児休業中に離職した → 問36へ

問33-1で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方におうかがいします。（父親について）

問33-2 **モ** 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問33-3 **モ** 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

実際の取得期間 □ 歳 □ ヶ月 希望取得期間 □ 歳 □ ヶ月

問33-4 **モ** 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

希望取得期間 □ 歳 □ ヶ月

問33-3で、実際の復帰と希望が異なる方にかかっています。（父親について）

問33-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由はなんですか。あてはまるもの全てに○をおつけください。

モ

〔「希望」より早く復帰した方〕

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 5. その他（ ） |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | |

〔「希望」より遅く復帰した方〕

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 6. 希望する保育所に入れなかったため | 9. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 7. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 10. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 8. 配偶者や家族の希望があったため | 11. その他（ ） |

問33で「3. 育児休業を取得していない」を選ばれた方にかかっています。（父親について）

問33-6 育児休業を取得していない理由はなんですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

モ

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 保育所（園）などに預けることができた
7. 配偶者が育児休業制度を利用した（配偶者がいる方のみ）
8. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. その他（ ）

すべての方にかがいます。(父親について)

問34 短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまるもの1 つに○をつけてください。

モ

1. 短時間勤務制度を利用した
2. 短時間勤務制度を利用しなかった

問34で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」を選ばれた方にかがいます。(父親について)

問34-1 短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。あてはまる理由すべてに○をつけてください。

モ

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した(配偶者がいる方のみ)
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()

すべての方にうかがいます。(父親について)

問35 現在の就労状況(自営業、家族従業者含む)について、あてはまるもの1つに○をおつけください。

モ
量

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

→ 就労形態は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア 自営業主	イ 会社などの役員	ウ 自営業の手伝い、自宅での内職
エ 正社員	オ 派遣社員	カ 契約社員・嘱託
		キ その他

モ
量

2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

→ 就労形態は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア 自営業主	イ 会社などの役員	ウ 自営業の手伝い、自宅での内職
エ 正社員	オ 派遣社員	カ 契約社員・嘱託
		キ その他

モ
量

3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

→ 就労日数をご記入ください。【 1週当たり 日程度 】

モ
量

→ フルタイムへの転換希望がありますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
イ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
ウ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
エ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

モ
量

4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

→ 就労日数をご記入ください。【 1週当たり 日程度 】

モ
量

→ フルタイムへの転換希望がありますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
イ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
ウ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
エ パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

問35-7へ

6. これまでに就労したことがない

問35で、「1」、「2」、「3」、「4」を選ばれた方におうかがいします。（父親について）

問35-1 あて名のお子さんの父親のお勤めの会社の従業員規模は、次のどの範囲ですか。あてはまるもの1つに○をおつけください（自営業を含む）。

1. 1人～4人	5. 100人～299人
2. 5人～9人	6. 300人～999人
3. 10人～29人	7. 1000人以上
4. 30人～99人	8. わからない

問35-2 あて名のお子さんの父親の年収について、枠内に具体的な数字でお答えください（収入がなかった

昨年1年間で 万円くらい

問35-3 1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答え下さい。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答え下さい。（□内に数字でご記入下さい。）（在宅勤務や内職の方は開始と終了の時刻をご記入ください）。

モ

・1日の就労時間 時間程度

・家を出る時刻 ※ 時 分頃

・帰宅時刻 ※ 時 分頃

※ 24時間制（例：午後6時⇒18時）でご記入ください。

問35-4 どれくらいの残業がありますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

1. 残業はない → 問36へ

2. 基本的にはないが、突発的に残業あり

3. 恒常的に残業あり

→ 残業時間をご記入ください。

【もっとも多いパターンで、1日 時間程度】

問35-4で、「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。（父親について）

問35-5 残業時間中のあて名のお子さんの保育はどうしていますか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 子育て支援サービスを利用している

2. 子どもの母親が面倒をみている

3. 子どもの祖父母や親戚の人が面倒をみている

4. 近所の人や父母の友人・知人が面倒をみている

5. その他（ ）

問35-5で、「1. 子育て支援サービスを利用している」を選ばれた方におうかがいします。

問35-6 残業時間中に利用されている子育て支援サービスは何ですか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. 幼稚園での預かり保育
2. 保育所での延長保育
3. 民間のベビーシッター
4. ほっと子育てふれあいセンター（地域住民による子どもの預かりサービス）
5. その他（）

問35で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまでに就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。（父親について）

問35-7 就労したいという希望はありますか。あてはまるもの1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

モ
量

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

問35-7で、「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。

問35-8 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまるもの1つに○をおつけください（パート、アルバイトを希望の方は、一週当たり日数及び一日当たり時間について数字もご記入ください）。

モ
量

1. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度）による就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労（週当たり 日・1日当たり 時間）

13. 封筒のあて名のお子さんの「母親」の就労状況等についてうかがいます。
【父子家庭の場合は記載不要】

問36 **モ** 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないことなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について、健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問37 **モ** 育児休業や短期時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- 1. 働いていなかった
- 2. 取得した
- 3. 取得していない → 問37-6へ

問37-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 問37-2へ
- 2. 育児休業中に退職した → 問40へ

問37-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方にうかがいます。
（母親について）

問37-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

モ ※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問37-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

モ 実際の取得期間 □ 歳 □ ヶ月 希望取得期間 □ 歳 □ ヶ月

問37-4 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

モ 希望取得期間 □ 歳 □ ヶ月

問37-3で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。（母親について）

問37-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由はなんですか。あてはまるもの全てに○をおつけください。

モ

〔「希望」より早く復帰した方〕

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 5. その他（ ） |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | |

〔「希望」より遅く復帰した方〕

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 6. 希望する保育所に入れなかったため | 9. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 7. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 10. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 8. 配偶者や家族の希望があったため | 11. その他（ ） |

問37で「3.育児休業を取得していない」を選ばれた方にうかがいます。（母親について）

問37-6 育児休業を取得しなかった理由はなんですか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

モ

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した（配偶者がいる方のみ）
9. 配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間・産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問39 現在の就労状況（自営業、家族従業者含む）について、あてはまるもの1つに○をおつけください

モ量

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

→ 就労形態は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア 自営業主	イ 会社などの役員	ウ 自営業の手伝い、自宅での内職	
エ 正社員	オ 派遣社員	カ 契約社員・嘱託	キ その他

モ量

2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

→ 就労形態は次のどれですか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア 自営業主	イ 会社などの役員	ウ 自営業の手伝い、自宅での内職	
エ 正社員	オ 派遣社員	カ 契約社員・嘱託	キ その他

モ量

3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

→ 就労日数をご記入ください。 【 1週当たり 日程度 】

モ量

→ フルタイムへの転換希望がありますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
イ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
ウ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
エ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

モ量

4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

→ 就労日数をご記入ください。 【 1週当たり 日程度 】

モ量

→ フルタイムへの転換希望がありますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

ア フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
イ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
ウ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
エ パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

→ 問39-8へ

6. これまでに就労したことがない

問39で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまでに就労したことがない」を選ばれた方におうかがいします。（母親について）

問39-8 就労したいという希望はありますか。あてはまるもの1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。



1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

問39-8で、「2」または「3」を選ばれた方におうかがいします。

問39-9 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまるもの1つに○をおつけください（パート、アルバイトを希望の方は、一週当たり日数及び一日当たり時間もご記入ください）。



1. フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度）による就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労（週当たり 日・1日当たり 時間）

問39-10 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっともあてはまるもの1つに○をおつけください。

1. 子育て支援サービスが利用できない
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない
5. その他（ ）

14. ワーク・ライフ・バランス等についておうかがいします。

問40 あなたは、今の生活に、どの程度満足していますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- | | |
|-------------------|----------|
| 1. 満足している | 4. 不満だ |
| 2. どちらかといえば満足している | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば不満だ | |

問41 あなたは、働くことをどのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- | |
|-------------------------------|
| 1. 社会貢献や自己実現のためにも働くのは当然 |
| 2. 収入を得るために働くのは当然 |
| 3. 収入を得るためにやむをえないが、できれば働きたくない |
| 4. 働きたくない |
| 5. その他（具体的に ） |

問42 あなたは、自治会などの地域活動をどのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- | |
|------------------|
| 1. 地域で支えあうのは当然 |
| 2. できる範囲の支えあいは必要 |
| 3. できるなら参加したくない |
| 4. 関わりたくない |
| 5. わからない |

問43 あなたは、子育てが地域の人に支えられていると感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-------------------|
| 1. とても感じている |
| 2. どちらかといえば感じている |
| 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかと言えば感じていない |
| 5. ほとんど感じていない |

問43-1 問43で各項目を選んだ理由をお書きください。

()

問44 あなたは、自分の生活の中で誰を一番に考えますか。あてはまるもの1つに○をお付けください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 自分 | 3. 子ども |
| 2. 配偶者 または パートナー | 4. その他（具体的に |

問45 あなたはワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉を知っていますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

- | |
|--------------------------|
| 1. ことばも内容も知っている |
| 2. ことばを聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3. ことばも内容も知らない |

問46 あなた自身は「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」がとれていると思いますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

****ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは***

1人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

- | |
|---------------------|
| 1. 調和がとれている |
| 2. どちらかという調和がとれている |
| 3. どちらかという調和がとれていない |
| 4. 調和がとれていない |
| 5. わからない |

15. 自由記載欄

あなたが、日ごろ、子育てについて感じていることがあれば、自由にお書きください。

以上で、すべての質問を終了しました。

お忙しいところ、調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。